

平成26年度 事業別予算概要

事業名	91200 91200 91200 91200	外国青年(英語指導助手)招致事業費	予算	会計	1	一般会計	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	概観計画		市長公約
				款	9	教育費	分野	1	学校教育	実施計画事業	外国青年(英語指導助手)招致事業	
担当課		教育委員会事務局 学校教育課	内線	項	1	教育総務費	基本施策	1	義務教育の充実を図る	H26実施計画額	10,600 千円	
			2362	目	2	事務局費	施策	1	自ら学び考える力の育つ教育の推進			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小中学校児童生徒	どうしたいのか(意図)	児童生徒が生きた英語に接し、コミュニケーションする機会を得る中で、英語を中心とする異文化理解の資質を養うとともに、郷土を愛し郷土の文化を尊重する態度を育てる。	概要	事業の実施手法(手段)	・小学校の英語活動の時間に、担任とともに簡単なコミュニケーション活動を行う。 ・中学校の英語の時間に英語教師とともに英語指導をする。 ・イングリッシュシャワーや英語スピーチコンテストなどに参加する児童生徒の支援をする。
	対象者数	8,047 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	英語指導助手(ALT)11名を市内小中学校へ派遣 英語指導助手(ALT)更新に伴う旅費等の費用負担(H24年度は7名更新)							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	英語指導助手の招致	人	目標値	12	12	12	12
		実績(見込)		11	11	11		
	成果指標	算出根拠等	各中学校を起点に全小中学校へ派遣	達成率(%)	92	92	92	
		中学校1学級あたりの平均訪問時間数(/週)	時間	目標値	2	2	2	2
	算出根拠等	11人ALT訪問時数 / 12中学校全学級数	達成率(%)	98	93	100		
			目標値					
	算出根拠等		実績(見込)					
			達成率(%)					
	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					
		目標値						
算出根拠等		実績(見込)						
		達成率(%)						
算出根拠等		目標値						
		実績(見込)						
算出根拠等		達成率(%)						
		目標値						
算出根拠等		実績(見込)						
		達成率(%)						
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	高山市の子どもに国際感覚を養うという視点から、ALTが取り組んでいるテキストの完成を急ぐ。また、コミュニケーション能力の育成という視点から、小中だけでなく、高校まで含めて、授業参観やその後の意見交流の機会をもつことで、子どもたちが国際観光都市高山を世界に発信することができるよう指導の充実を図る。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	月1回行っているALT会議で高山市の魅力を紹介する英文を各学年のレベルに合わせた表現でまとめたものを作成している。小・中学校の英語科教諭や高等学校の英語科教諭、高山市のALTと高校のALTが自主的に参加する指導力向上研修を月1回実施し、ALTと英語教師によるチームティーチングの改善のための研修を始めた。	
次年度の実施方針	○維持・改善	中学校における英語の授業時間数増加に対応するため、英語教師とALTとのチームティーチングの授業の公開及び授業研究会を実施し、中学校英語教諭の指導力向上とALTの指導力向上を図る。高等学校との連携をめざし、中高での授業参観等の交流を進める。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	8,089	9,692	10,863	11,212
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	973	1,187	1,350	1,419
	受益者	小中学校児童生徒	(B)	8,313	8,162	8,047

5 予算編成(Action2)

事業内容	児童生徒の英語教育を充実するための英語指導助手11名の研修及び着任旅費等の経費	要求のポイント	英語指導助手(ALT)招致に必要な経費を計上	事業実施の課題	新規に着任するALTの指導力の向上と中学校英語教諭の指導力の向上
------	---	---------	------------------------	---------	----------------------------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	10,863	11,212	349	10,752	10,752	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	1,100	1,040	△60	1,100	1,100		
一般財源	9,763	10,172	409	9,652	9,652		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	91210	教職員健康管理費	会計	1	一般会計	総合計画	政策		根拠計画	市長公約
種別			款	9	教育費		分野			
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		項	1	教育総務費		基本施策			
内線	2359		目	2	事務局費		施策			
									実施計画事業	
									H26実施計画額	千円

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小中学校教職員	どうしたいのか(意図)	教職員の健康維持、病気の早期発見(学校保健安全法に基づく)	概要	事業の実施手法(手段)	・県費教職員及び保健相談員を対象とした胸部レントゲン検査及び県費教職員を対象に健康診断を行う。
	対象者数	661 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・健康診断 153人 1,068千円 ・胸部レントゲン検査 533人 560千円							
成果面	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	活動指標	健康診断(胸部レントゲン検査を除く)受診者数	人	目標値	181	181	185	185
				実績(見込)	154	153	166	
				算出根拠等	達成率(%)	85	85	90
	活動指標	胸部レントゲン検査受診者数	人	目標値	550	550	550	550
				実績(見込)	526	533	567	
				算出根拠等	達成率(%)	96	97	103
				目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等				達成率(%)				
			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足	県職員互助会実施の人間ドックを選択する教職員が多いため、対象者数と比較して市で受診する者の人数が少なくなっている。							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・全対象者が漏れなく受診できるよう、日程調整等手配済み。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・教職員の健康推進のため、継続して事業を実施する。
	拡大	
	縮小	
	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 1,492	1,628	1,900	1,976
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 2,295	2,478	2,874	2,889
	受益者	(B) 650	657	661	684

5 予算編成(Action2)

事業内容	・県費教職員及び保健相談員を対象とした胸部レントゲン検査及び県費教職員を対象とした健康診断	要求のポイント	学校保健安全法に基づく健康診断の実施	事業実施の課題	教職員等の健康の維持
------	---	---------	--------------------	---------	------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,900	1,976	76	2,000	2,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	1,900	1,976	76	2,000	2,000		

平成26年度 事業別予算概要

事業名 91215 日本スポーツ振興センター負担金	会計 1 一般会計	政策	根拠計画	市長公約
課 教育委員会事務局 学校教育課	款 9 教育費	分野	実施計画事業	
担当課 内線 2359	項 1 教育総務費	基本施策	H26実施計画額	
	目 2 事務局費	施策	千円	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 小中学校児童生徒	どうしたいのか(意図)	各学校において日本スポーツ振興センター保険の有用性を理解し保護者説明を行ったうえで全児童生徒を加入させ、学校管理下における児童生徒の災害補償をすることで、災害発生時の保護者経費負担の軽減を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・保護者の共済掛金の一部を負担する。
	対象者数	8,047 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	共済掛金の一部負担金 8,159人 7,643千円							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	成果指標	保険加入者数	人	目標値	8,313	8,162	8,047	7,904
		実績(見込)		8,314	8,159	8,047		
	算出根拠等	5月1日現在児童生徒数		達成率(%)	100	100	100	
				目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
補足			実績(見込)					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	学校管理下における児童生徒の災害補償制度のため、引き続き保護者への制度周知が必要である。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	本年度も既に昨年度と同様に実施した	
次年度の実施方針	○維持・改善	学校管理下における児童生徒の災害補償をすることによる保護者負担の軽減のため、次年度も実施する
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 7,795	7,643	7,600	7,400
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 938	936	944	936
	受益者	(B) 8,313	8,162	8,047	7,904

5 予算編成(Action2)

事業内容	・保護者の共済掛金の一部を負担する。	要求のポイント	児童生徒の災害補償のために必要な負担金を計上	事業実施の課題	保護者への災害補償制度の周知
------	--------------------	---------	------------------------	---------	----------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	7,600	7,400	△ 200	7,400	7,400	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	3,616	3,415	△ 201	3,545	3,545		
一般財源	3,984	3,985	1	3,855	3,855		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	91220	校長会等負担金	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策		根拠計画	市長公約
種別				款	9	教育費		分野			
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線	項	1	教育総務費	基本施策		実施計画事業		
		2345	目	2	事務局費	施策		H26実施計画額		千円	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小中学校児童生徒	どうしたいのか(意図)	児童生徒の健全な育成のための、教職員や学校医等の活動に対してサポートする。	概要	事業の実施手法(手段)	・教職員や学校医で組織される各種団体の上部団体からの分担金の負担および、団体の事業費について補助する。
	対象者数	8,047 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	各種団体への負担金、補助金の支出 負担金 9団体 2,815千円、補助金 1団体 2,700千円							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	交付先団体数	団体	目標値	10	10	10	10
		実績(見込)			10	10	10	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
				目標値				
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
		達成率(%)						
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・各機関・団体との連携のため、継続して事業を実施する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・各機関・団体と連携した事業をより効率的に実施する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	5,996	5,515	5,564	5,923
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	721	676	691	749
	受益者	小中学校児童生徒	(B)	8,313	8,162	8,047

5 予算編成(Action2)

事業内容	・教職員や学校医で組織される各種団体の上部団体からの分担金の負担及び、団体の事業費への助成	要求のポイント	・H27年度の小学校教科用図書採択による教科用図書飛騨地区採択協議会負担金の増	事業実施の課題
------	---	---------	---	---------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	5,564	5,923	359	5,910	5,910	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	5,564	5,923	359	5,910	5,910		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	91250	教育研究所運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	市長公約
種別				款	9	教育費		分野	1	学校教育		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線	項	1	教育総務費	基本施策	1	義務教育の充実を図る	実施計画事業	教育研究所運営事業	
	3456	目		2	事務局費	1		自ら学び考える力の育つ教育の推進	H26実施計画額		2,700 千円	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民(教職員及び保護者を中心とする)	どうしたいのか(意図)	高山市の教育の振興、発展を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 教育研究センター(「子どもの心に残る教育」の在り方を研究する) 教育研修センター(教職員の指導力向上の為に研修、市民の生涯学習の機会の提供及び大学との連携を行う) 教育相談センター(児童生徒、教職員、市民等からの教育に関する相談への対応を行う) 教育資料センター(教育資料の収集、管理提供を行う) 委託・下請けによる指導員派遣、教育の管理、運営を行う。
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	教育研究所・であい塾の運営 教員研修、教育相談の実施 であい塾バスの運行							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	教員研修開催状況	回	目標値	84	96	84	90
		実績(見込)	90	105	92			
	成果指標	算出根拠等	実績	達成率(%)	107	109	110	
		教員研修参加状況	人	目標値	800	850	950	1,000
	実績(見込)	1,100	1,665	2,182				
	算出根拠等	実績	達成率(%)	138	196	230		
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談や不登校児童生徒への対応、教職員の指導力の向上のための教員研修の充実など課題も多く、教育センター機能を高めるために、指導主事の配置人数を増員することが必要である。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の状況を多面的に分析・把握するため、ハイパーQUアンケートを継続実施した。 若年層の教員・講師を中心とした研修機会の充実を行った。 全国学力状況調査及び県学力状況調査の分析を活かし、研修・指導を充実させている。 		
次年度の実施方針	担当課評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> 継続的なハイパーQUアンケートの実施と有効的な活用を行う。 若年層の教員・講師への研修機会を増やし、資質の向上を図る。
	二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	3,791	7,294	4,368	4,841
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	41	79	47	53
	受益者	全市民	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 教育研究センター 教育研修センター 教育相談センター 教育資料センター であい塾 にかかる運営経費	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 教育研究所及びであい塾の管理運営に必要な経費を計上 幼保小連携事業に必要な経費を計上 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談やいじめ等の問題、不登校児童生徒への対応
------	---	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		4,368	4,841	473	5,885	5,885	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	500		△500				
	その他			0				
	一般財源	3,868	4,841	973	5,885	5,885		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	91255	特別支援教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	市長公約				
種別				款	9	教育費		分野	1	学校教育						
担当課	教育委員会事務局 学校教育課			内線	2362	項		1	教育総務費	基本施策			1	義務教育の充実を図る	実施計画事業	特別支援教育推進事業
				目	2	事務局費		施策	2	一人ひとりを大切にする教育の推進			H26実施計画額	2,300 千円		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小中学校児童生徒	どうしたいのか(意図)	学びにくさ、生活のしづらさなどの困り感を抱えた児童生徒の教育的ニーズに応じて適した指導・援助を行い、その子の自立を支援し社会参加する力を育てる。	概要	事業の実施手法(手段)	講演会、相談会、就学指導委員会を開催する。 障がい児童等就学支援事業により、医療行為を必要とする障がい児童等への訪問看護による支援を行う。
	対象者数	8,047 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> 巡回就学相談会、特別支援教育講演会の開催 医療行為を必要とする障がい児童等への訪問看護による支援 幼稚園・保育園と小学校の連携の支援 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	就学指導委員会の情報交流件数	件	目標値	300	300	400	400
				実績(見込)	296	406	400	
				算出根拠等 実績	達成率(%)	99	135	100
	成果指標	巡回就学相談件数	件	目標値	45	45	40	46
				実績(見込)	45	40	46	
				算出根拠等 実績	達成率(%)	100	89	115
	成果指標	特別支援講演会	回	目標値	1	1	1	1
				実績(見込)	1	1	1	
				算出根拠等 実績	達成率(%)	100	100	100
	補足				目標値			
					実績(見込)			
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	講演会の充実等により、発達障がい等の障がいに対する市民、保護者の理解をさらに深めることで、一人一人の子どもにあった就学指導が円滑に進むようにしていく必要がある。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	特別支援教育講演会を開催し、市民の意識の改善を図る。継続して、医療行為を必要とする障がい児童等の保護者への訪問を行ったり、個別の会議を行ったりして、必要に応じて訪問看護による支援を行っている。	
次年度の実施方針	維持・改善	関係機関と連携することで、障がい児就学相談会への相談者を増やしたり、教職員や保護者に対する特別支援講演会の開催の回数や規模の拡大を検討する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	維持・改善	これまでの実施事業における効果を検証する必要がある。
	拡大	
	縮小	
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	391	303	620	637
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,321	746	1,550	1,593
	受益者	就学指導委員会の情報交流件数	(B)	296	406	400

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 講演会、相談会、就学指導委員会の開催 障がい児等就学支援 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育の理解啓発のための講演会の開催に必要な経費を計上 障がい児等への就学支援のための訪問看護に必要な経費を計上 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 障がいに対する市民の理解のさらなる向上と、学びにくさなど困り感を抱えた児童生徒の教育的ニーズの把握
------	---	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	620	637	17	620	620	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	620	637	17	620	620		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	92200	小学校運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	市長公約
種別				款	9	教育費		分野	1	学校教育		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線	項	2	小学校費	基本施策	1	義務教育の充実を図る	実施計画事業	小中学校運営事業、特色ある学校教育活動推進事業	
	2358		目	2	教育振興費		施策	4	教育環境の整備	H26実施計画額	(小中合算)60,000、8,200 千円	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小学校児童	どうしたいのか(意図)	・義務教育における公費を負担することで、教育環境を整備し義務教育の充実をはかる。 ・各学校、地域の特色を生かした学校経営を行い、豊かな教育環境を創出する。	概要	事業の実施手法(手段)	・小学校の学校運営にかかる必要経費の管理・執行をする。 ・新入学児童への防犯ブザー配付、安全帽子贈呈事業を行う。 ・「特色ある学校経営推進事業」に対して事業費補助を行う。
	対象者数	5,164 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	学校運営にかかる経常経費 31,341千円 特色ある学校経営推進協議会補助金 4,589千円 等							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	児童数	人	目標値	5,504	5,329	5,164	5,014
		実績(見込)		5,504	5,329	5,164		
	活動指標	算出根拠等	5月1日現在	達成率(%)	100	100	100	
		学校数	校	目標値	19	19	19	
	活動指標	実績(見込)		19	19	19		
		算出根拠等	5月1日現在	達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	新入学児童数	人	目標値	809	791	822	813
		実績(見込)		809	791	822		
	活動指標	算出根拠等	5月1日現在	達成率(%)	100	100	100	
				目標値				
	活動指標			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					
活動指標			目標値					
	算出根拠等		実績(見込)					
活動指標			達成率(%)					
	算出根拠等		目標値					
活動指標			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・特色ある学校経営推進事業については、協議会で各学校の事業計画の内容についてよく精査し、豊かな教育環境を創出する為により高い効果を上げられる事業を実施させるよう、継続して各学校へ指導していく必要がある。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	特色補助金における事業内容については、平成25年度は「ふるさとと協働する学校づくり」の視点から地域との連携を図りながら、地域の特色を生かした学校経営の計画を練り上げるように指導をした。学校が地域との結びつきを大切に継続的に取り組んでいるもの、認定はその時々々の情勢に合わせたタイムリーなものと原則に基づき、各事業を認定した。	
次年度の実施方針	○維持・改善	事業を継続実施しながら、各校での事業内容が特色を生かした学校経営、豊かな教育環境の創出につながるよう指導していく。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	特色ある学校経営推進協議会補助金について引き続き各校の実施内容を精査するとともに、効果を検証していく必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	61,785	35,931	39,400	39,140
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	11,225	6,743	7,630	7,806
	受益者	小学校児童	(B)	5,504	5,329	5,164	5,014

5 予算編成(Action2)

事業内容	・小学校の運営に係る経費	要求のポイント	事業実施の課題	・特色ある学校経営推進事業の効果的実施 ・児童の多面的分析の継続実施
------	--------------	---------	---------	---------------------------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		39,400	39,140	△260	39,500	39,500	・普通交付税算入額を参考に積算	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	700	740	40	700	700		
	一般財源	38,700	38,400	△300	38,800	38,800		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	92203	心の教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	市長公約
	課			款	9	教育費		分野	1	学校教育		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線 2362	項	2	小学校費	基本施策	1	義務教育の充実を図る	実施計画事業	心の教育推進事業	
	目	2		教育振興費	2	一人ひとりを大切にする教育の推進		H26実施計画額	(小中合算) 37,000 千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	学校生活に「困り感」があり特別な教育支援を必要としている児童	どうしたいのか (意図)	個々の内面に寄り添いながら、一人一人が持つ良さや可能性が十分発揮できるようにする。	概要	事業の実施手法(手段)	必要とする小学校に、保健相談員を派遣し、特別な教育支援を必要としている児童の支援と心に悩みを持つ児童の心のケアにあたる。
	対象者数	5,164 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		保健相談員 35名を各小学校へ配置						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	保健相談員対応時間数	時間	目標値	23,265	24,897	27,673	31,122
		実績(見込)			22,706	24,897	27,673	
	算出根拠等	予算額(決算額)÷980円/時		達成率(%)	98	100	100	
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
		達成率(%)						
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 心に悩みを持つ児童の心のケア、外国人児童の生活ケアなどさまざまな支援が必要になっている。 支援が必要な児童に十分対応するには、保健相談員の時間数や人数を増やす必要がある。 保健相談員のスキルアップのための研修会をさらに充実させる必要がある。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		さまざまな支援が必要になっており、保健相談員だけでなく教育相談担当や担任等と連携し、相談事業に対応している。	
次年度の実施方針	担当課評価	維持・改善	
	○ 拡大	心に悩みを持つ児童の心のケア、外国人児童の生活ケアなどさまざまな支援が必要になっているため、相談員のスキルアップ及び相談員の増員により支援を充実する。	
		縮小	
		廃止検討	
○ 維持・改善	拡大	相談員及び教職員のスキルアップに取り組んでいく必要がある。	
	縮小	県に対し、相談員の配置を強く働きかける必要がある。	
	廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	22,252	24,399	27,120	30,165
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	4,043	4,579	5,252	6,016
	受益者	小学校児童	(B)	5,504	5,329	5,164	5,014

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 保健相談員の賃金 特別な教育支援を必要とする児童の支援 心に悩みを持つ児童の心のケア 	要求のポイント	事業実施の課題	心に悩みを持つ児童の心のケアに対応できる保健相談員の確保
------	--	---------	---------	------------------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	27,120	30,165	3,045	30,500	30,500	・普通交付税算入額を参考に積算	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	27,120	30,165	3,045	30,500	30,500		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	92215 92215 92215 92215	小学校教育機器整備事業費	予算	会計	1 一般会計	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約
				款	9 教育費	分野	1 学校教育	実施計画事業		
担当課		教育委員会事務局 学校教育課	内線	項	2 小学校費	基本施策	1 義務教育の充実を図る	H26実施計画額	千円	
			2358	目	2 教育振興費	施策	4 教育環境の整備			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小学校児童	どうしたいのか(意図)	小学校教育機器の整備の充実	概要	事業の実施手法(手段)	学校内で使用する教材備品の購入
	対象者数	5,164 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	教材備品の充実 小学校用教材備品の購入 17,901千円							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	学級数	学級	目標値	232	228	231	234
				実績(見込)	232	228	231	
	算出根拠等	5月1日現在		達成率(%)	100	100	100	
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
達成率(%)								
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・各学校の希望を考慮しながら、学校間のバランスにも配慮した学校教材の整備とその早期発注が課題である。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・各学校の希望を考慮しながら学校間のバランスに配慮した学校教材の整備のため、校長会等と連携して購入する教材の選定基準を引き続き検討する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・選定基準を定め、早期発注に努める
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)		(A)	14,300	17,901	21,500
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	2,598	3,359	4,163
	受益者	小学校児童	(B)	5,504	5,329	5,164

5 予算編成(Action2)

事業内容	・教材備品の整備	要求のポイント		事業実施の課題	早期発注による備品整備
------	----------	---------	--	---------	-------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		21,500	21,500	0	22,300	22,300	・普通交付税算入額を参考に積算	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	21,500	21,500	0	22,300	22,300		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	92220 小学校図書整備事業費	会計	1 一般会計	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして	概観計画		市長公約
		款	9 教育費	分野	1 学校教育	実施計画事業	学校図書整備事業	
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	項	2 小学校費	基本施策	1 義務教育の充実を図る	H26実施計画額	(小中合算) 69,000 千円	
	内線 3456	目	2 教育振興費	施策	4 教育環境の整備			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 小学校児童	どうしたいのか(意図)	・全小学校の図書館の蔵書について文部科学省の基準を上回る図書の内容整備及び分野別でも基準を満たす。 ・読書に親しめる環境づくりを進めるとともに、学習・情報センターとして活用できる学校図書館にする。	概要	事業の実施手法(手段)	・学校図書館の管理・運営を行う。 ・分野ごとにバランスの取れた選書による図書購入を行う。
	対象者数 5,164 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> 図書購入 9,099冊 学校図書システムの導入 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	年間購入冊数	冊	目標値	10,000	10,000	10,000	10,000
		実績(見込)			9,579	9,099	10,000	
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)	96	91	100	
		国の蔵書基準(種別)を上回る学校数	%	目標値	100	100	100	100
	実績(見込)			100	100	100		
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100		
				目標値				
		算出根拠等		実績(見込)				
				達成率(%)				
		算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					
補足			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 図書システムのさらなる活用を検討し、児童の貸し借りをスムーズに行っていくとともに、児童が自ら図書を検索し、購入する図書のリクエストをしたり、調べ学習に活用できる図書を見つけて利用したりできるようにするための指導を充実していく。 学習・情報センターとしての機能向上を図るため、図書館主任と学校図書館指導員の協働により、教科書で扱われる題材に關係した図書の展示方法の工夫や通信による紹介など、図書館経営のあり方を充実させていく。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館図書選書委員会において、共通図書の購入の検討や各学校の図書の分類別のバランスがとれた選書を行った。 調べる学習コンクールの事前研修会として、全小中学校より学校図書館指導員の悉皆研修を行い、図書館経営のポイントの周知を図った。 		
次年度の実施方針	担当課評価	維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 学習・情報センターとして活用できる学校図書館となるよう、学校図書館システムの効果的な活用を図る。
	○ 拡大		
	縮小		
	廃止検討		
二次評価	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 図書システムの導入により、図書整理に要する時間が大幅に短縮されたことから、図書指導員と教員が連携し、図書を使った教育を展開していく必要がある。 選書委員会設置の効果を検証し、学習・情報センターとしての機能充実を図る必要がある。 	
○ 拡大			
縮小			
	○ 廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除く)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 44,097	46,706	44,530	44,530
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 8,012	8,764	8,623	8,881
	受益者 小学校児童	(B) 5,504	5,329	5,164	5,014

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館の管理運営 分野ごとにバランスの取れた選書による図書の整備 	要求のポイント	事業実施の課題	学校図書館の学習・情報センターとしての機能強化
------	---	---------	---------	-------------------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	44,530	44,530	0	45,970	45,970	・普通交付税算入額を参考に積算	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	44,530	44,530	0	45,970	45,970		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	92235	小学校パソコン教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	市長公約
	課			款	9	教育費		分野	1	学校教育		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線 3456	項	2	小学校費	基本施策	1	義務教育の充実を図る	H26実施計画額	千円	
	目	2		教育振興費	4	教育環境の整備						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小学校児童	どうしたいのか (意図)	・小学校におけるパソコン教育の推進と活用	概要	事業の実施 手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 各校で現在使用しているパソコンについて平成26年のWindowsXPのサポート終了に伴う、Vista、7へのアップグレード 老朽化している教室用パソコンの更新(新規リース化) パソコン教育の指導 情報漏えい対策
	対象者数	5,164 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティソフトのライセンス購入 ・サーバの保守 						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	小学校パソコン設置台数	台	目標値	1,540	1,540	1,022	1,008
				実績(見込)	1,035	1,035	1,008	
	算出根拠等			達成率(%)	67	67	99	
				目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
達成率(%)								
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器、校内無線LANの導入 ※児童が電子黒板、タブレットPCをあたり前に活用して分析したり、表現したりする力を身に付ける。
----------------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況		<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化したパソコンの更新(リース化) ・XPのサポート終了によるVista、7へのアップグレード(管理用パソコン、パソコン室パソコン) ・老朽化した各校ネットワークのスイッチ、ハブの交換
次年度 の実施方針	担当課 評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	二次 評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
		<ul style="list-style-type: none"> ・メインサーバー(電算室)、各校サーバーの更新 ・教育用パソコンを積極的に授業に活用する必要がある。 ・機器更新にあたっては、効率的な配置と計画的な更新を行う必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	3,261	2,714	18,660	19,715
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	592	509	3,613	3,932
	受益者	小学校児童	(B)	5,504	5,329	5,164	5,014

5 予算編成(Action2)

事業内容	・小学校におけるパソコン教育の推進のための経費	要求の ポイント	・老朽化したサーバー機器の更新	事業 実施の 課題	・計画的な機器更新とセキュリティの向上
------	-------------------------	-------------	-----------------	-----------------	---------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		18,660	19,715	1,055	17,600	17,600	<ul style="list-style-type: none"> ・積算内容を精査 ・サーバーの更新に要する経費を計上 	<ul style="list-style-type: none"> ・財務部査定のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	18,660	19,715	1,055	17,600	17,600		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	92240 小學校要保護及び準要保護等児童援助費	会計	1 一般会計	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約
		款	9 教育費	分野	1 学校教育	実施計画事業	要保護及び準要保護児童扶助事業	
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	項	2 小學校費	基本施策	1 義務教育の充実を図る	H26実施計画額	(小中合算) 55,000 千円	
	内線 2358	目	2 教育振興費	施策	2 一人ひとりを大切にする教育の推進			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 小學校児童	どうしたいのか(意図)	経済的理由のため就学困難と認められる児童の就学を奨励する。	概要	事業の実施手法(手段)	保護者に必要な学用品費等の援助や学校給食費の全部または一部を補助する。
	対象者数	5,164 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	要保護・準要保護等児童援助費 360人 21,079千円							
成果面	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	成果指標	援助している児童数	人	目標値	427	414	420	401
				実績(見込)	353	360	370	
	算出根拠等	年間認定者数		達成率(%)	83	87	88	
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	景気の低迷や離婚等による収入の減少から、援助が必要な児童をもつ世帯が増加傾向にあるため、予算の確保が必要である。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	就学困難と認められる児童の保護者に対して従前と同様に支援を行い就学を奨励する	
次年度の実施方針	○維持・改善	国の制度改正の動向等を把握しながら、引き続き、必要な援助、学校給食費の全部または一部を補助することにより就学を奨励していく。
	拡大	
	縮小	
	○維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	19,971	21,079	25,780	24,700
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	56,575	58,553	61,381	61,750
	受益者	援助している児童数	(B)	353	360	420

5 予算編成(Action2)

事業内容	・要保護及び準要保護児童への就学援助 ・特別支援学級就学児童への就学奨励	要求のポイント	事業実施の課題	・学校と連携した制度の周知の継続
------	---	---------	---------	------------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	25,780	24,700	△ 1,080	25,310	25,310	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	2,100	1,900	△ 200	1,900	1,900		
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	23,680	22,800	△ 880	23,410	23,410		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	92250	学校教育関係事務費	予算	会計	1	一般会計	政策	根拠計画	市長公約
種別				款	9	教育費			
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線 2359	項目	2	小学校費	基本施策	実施計画事業	H26実施計画額	千円
				2	教育振興費				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小学校児童	どうしたいのか(意図)	小学校教育推進上の必要経費(児童の健康診断にかかる手数料等)を負担することで、児童の心身の健全育成をはかる	概要	事業の実施手法(手段)	・小学校児童について学校保健安全法に基づく健康診断を実施する。 ・小学校教育推進上の必要経費のうち主に市主催の行事等に関する経費の管理・執行をする。
	対象者数	5,164 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		・児童健康診断 3,808千円 等						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	児童数	人	目標値	5,504	5,329	5,164	5,014
		実績(見込)		5,504	5,329	5,164		
	算出根拠等	5月1日現在		達成率(%)	100	100	100	
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		児童の心身の健全育成のため、適正な執行をする
次年度の実施方針	○ 維持・改善	拡大
		縮小
	○ 維持・改善	廃止検討
		縮小
二次評価		(担当課評価に同じ)
○ 維持・改善		拡大
		縮小
		廃止検討

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	5,733	5,049	6,566	6,943
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,042	947	1,271	1,385
	受益者	小学校児童	(B)	5,504	5,329	5,164	5,014

5 予算編成(Action2)

事業内容	・学校運営に係る一般事務費 ・児童健診、検尿、心電図検査費用	要求のポイント	・学校保健安全法に基づく児童の健康診断費用	事業実施の課題	児童の健康の維持
------	-----------------------------------	---------	-----------------------	---------	----------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		6,566	6,943	377	6,060	6,060	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	6,566	6,943	377	6,060	6,060		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	92255	スクールカウンセラー配置事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	市長公約
	課			9	教育費	分野		1	学校教育			
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線	項	2	小学校費	基本施策	1	義務教育の充実を図る	実施計画事業	スクールカウンセラー配置事業	
	3456			目	2	教育振興費		2	一人ひとりを大切にす教育の推進		H26実施計画額	2,000 千円

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小学校児童	どうしたいのか(意図)	児童生徒及び保護者の心のケアを通して、児童の学校生活への不適応やいじめ、不登校問題などの未然防止を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	スクールカウンセラー(臨床心理士)を16校に派遣する。(残り3校については、県費による派遣)
	対象者数	5,164 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		・臨床心理士により、393時間(114回)のカウンセリングを実施。						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	実施総時間数	時間	目標値	400	400	400	400
		実績(見込)		399	393	400		
	算出根拠等			達成率(%)	100	98	100	
				目標値				
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
		達成率(%)						
補足	・単なる相談活動が行われているだけでなく、相談の実施を通して、スクールカウンセラー、保護者、教員が連携してその子を支援していく流れにつながっていることが大きな成果である。 ・発達障がいをもつ児童生徒の保護者の相談が増えているが、その子の特性を理解して前向きに子どもと関わることの大切さが伝えられている。							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・時間数の大部分が本人や保護者への相談の7要望に答えていることは大変良いが、さらに、本人や保護者の困り感に対してどのように支援すべきかなど、学校とスクールカウンセラーの連携方法について、さらに研究を進めていきたい。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		・児童の学校生活への不適応やいじめ、不登校などに対応するため、保護者や本人に対する相談活動だけでなく、その支援策を学校と相談する機会を増やしてきた。県に対してスクールカウンセラーの派遣数の増加を要望する。
次年度の実施方針	担当課評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	・児童の学校生活への不適応やいじめ、不登校などに対応するため、継続して事業を実施する。	
	(担当課評価に同じ)	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	1,753	2,010	2,050	2,050
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	318	377	397	409
	受益者	小学校児童数	(B)	5,504	5,329	5,164	5,014

5 予算編成(Action2)

事業内容	・スクールカウンセラー(臨床心理士)の派遣費用(16校)(残り3校は、県費による派遣)	要求のポイント	事業実施の課題	・児童の学校生活への不適応やいじめなど個別具体的な支援の継続
------	---	---------	---------	--------------------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		2,050	2,050	0	2,050	2,050	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	2,050	2,050	0	2,050	2,050		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	92265	小学校外部講師活用事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	市長公約
	課			款	9	教育費		分野	1	学校教育		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線 2362	項	2	小学校費	基本施策	1	義務教育の充実を図る	実施計画事業	小学校国際理解推進事業	
	目	2		教育振興費	1	自ら学び考える力の育つ教育の推進		H26実施計画額	(小中合算)3,700 千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小学校児童	どうしたいのか (意図)	地域の方々から、総合的な学習の時間・クラブ活動・進路講話・外国語指導等を受け、豊かな学習活動を展開しながら、様々な方面の事柄に興味関心を持たせ、生きる力の礎を築く。	概要	事業の実施手法(手段)	各学校でその地域の特徴ある講師や、児童に興味関心を持たせることができる講師を選定し、様々な学習活動を行う。
	対象者数	5,164 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	外部講師による授業時間 950時間							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	外部講師活用時間数	時間	目標値	950	950	950	950
				実績(見込)	950	950	950	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	成果指標	補助金を得て行った活動が、児童生徒の生きる力の育成に寄与したと評価している学校数	校	目標値	19	19	19	19
				実績(見込)	19	19	19	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
			達成率(%)					
補足	積極的に外部講師を活用した活動を仕組むことができ、児童生徒が地域の方から生き方や、より専門性の高い学びをする機会が増えた。							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	子どもたちは、地域の方々から多くの刺激を頂いている。今年度より郷土教育の充実をめざしていることから、郷土について多く学ぶことができる講師の方を開拓していく必要がある。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		外部講師の活用計画を立て効果的な活用を促し、活用状況を定期的に見届けている。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	拡大	児童に様々な方面の事柄に興味関心を持たせることができる外部講師を活用した事業を継続して行う。
		縮小	
	○ 維持・改善	廃止検討	多様な学習・体験のため、地域の人材を活用した事業として、事業の効果検証を行いながら実施する必要がある。
		縮小	
	廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)		(A)	1,900	1,900	1,900
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	345	357	368
	受益者	小学生児童	(B)	5,504	5,329	5,164

5 予算編成(Action2)

事業内容	外部講師報償費	要求のポイント	事業実施の課題
			多様な学習・体験のため、講師に地域の人材を活用する

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,900	1,900	0	1,900	1,900	要求どおり	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,900	1,900	0	1,900	1,900		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	93200	中学校運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	市長公約
	課			9	教育費	分野		1	学校教育			
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線 2358	項	3	中学校費	基本施策	1	義務教育の充実を図る	実施計画事業	小中学校運営事業、特色ある学校教育活動推進事業	
	目	2		教育振興費	4	教育環境の整備		H26実施計画額	(小中合算)60,000、8,200 千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	中学校生徒	どうしたいのか(意図)	・義務教育における公費を負担することで、教育環境を整備し義務教育の充実をはかる ・各学校、地域の特色を生かした学校経営を行い、豊かな教育環境を創出する	概要	事業の実施手法(手段)	・中学校の学校運営にかかる必要経費の管理・執行をする。 ・「特色ある学校経営推進事業」に対して事業費補助を行う。
	対象者数	2,883 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	学校運営にかかる経常経費 37,875千円 特色ある学校経営推進協議会補助金 3,165千円 等							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	生徒数	人	目標値	2,809	2,833	2,883	2,890
		実績(見込)	2,809	2,833	2,883			
	活動指標	学校数	校	目標値	12	12	12	12
		実績(見込)	12	12	12			
	算出根拠等	5月1日現在		達成率(%)	100	100	100	
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・特色ある学校経営推進事業については、協議会で各学校の事業計画の内容についてよく精査し、豊かな教育環境を創出する為により高い効果を上げられる事業を実施させるよう、継続して各学校へ指導していく必要がある。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	特色補助金における事業内容については、平成25年度は「ふるさとと協働する学校づくり」の視点から地域との連携を図りながら、地域の特色を生かした学校経営の計画を練り上げるように指導をした。学校が地域との結びつきを大切に継続的に取り組んでいるもの、認定はその時々々の情勢に合わせたタイムリーなものと原則に基づき、各事業を認定した。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	事業を継続実施しながら、各校での事業内容が特色を生かした学校経営、豊かな教育環境の創出につながるよう指導していく。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・特色ある学校経営推進協議会補助金について引き続き各校の実施内容を精査するとともに、効果を検証していく必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	26,660	41,040	29,700	29,700
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	9,491	14,486	10,302	10,277
	受益者	中学校生徒	(B)	2,809	2,833	2,883	2,890

5 予算編成(Action2)

事業内容	・中学校の運営に係る経費	要求のポイント	事業実施の課題	・特色ある学校経営推進事業の効果的実施 ・生徒の多面的分析の継続実施
------	--------------	---------	---------	---------------------------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	29,700	29,700	0	30,900	30,900	・普通交付税算入額を参考に積算	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	29,700	29,700	0	30,900	30,900		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	93203	心の教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	概観計画	市長公約
	課			款	9	教育費		分野	1	学校教育		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線 2362	項	3	中学校費	基本施策	1	義務教育の充実を図る	実施計画事業	心の教育推進事業	
	目	2		教育振興費	施策	2		一人ひとりを大切にする教育の推進	H26実施計画額		(小中合算) 37,000 千円	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	中学校生徒	どうしたいのか(意図)	個々の内面に寄り添いながら、一人一人が持つ良さや可能性が十分発揮できるようにする。	概要	事業の実施手法(手段)	必要とする中学校に、保健相談員を派遣し、特別な教育支援を必要としている生徒の支援と心に悩みを持つ生徒の心のケアにあたる。
	対象者数	2,883 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	保健相談員 20名を各中学校へ配置							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	保健相談員対応時間数	時間	目標値	14,693	14,693	14,693	14,693
		実績(見込)			14,148	14,690	14,693	
	成果指標	算出根拠等	予算額(決算額)÷980円/時	達成率(%)	96	100	100	
		算出根拠等		目標値				
		算出根拠等		実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
		算出根拠等		目標値				
		算出根拠等		実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
		算出根拠等		目標値				
		算出根拠等		実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 心に悩みを持つ生徒の心のケア、不登校傾向生徒への支援などさまざまな支援が必要になっている。 支援が必要な生徒に十分対応するには、保健相談員の時間数や人数を増やす必要がある。 保健相談員のスキルアップのための研修会をさらに充実させる必要がある。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	さまざまな支援が必要になっており、保健相談員だけでなく教育相談担当教諭や担任と連携し、相談事業に対応している。																				
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担</td> <td>維持・改善</td> <td rowspan="3">心に悩みを持つ生徒の心のケア、不登校傾向生徒などさまざまな支援が必要になっているため、相談員のスキルアップ及び相談員の増員により支援を充実する。</td> </tr> <tr> <td>当</td> <td>○ 拡大</td> </tr> <tr> <td>課</td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>評</td> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> <tr> <td>方</td> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">相談員及び教職員のスキルアップに取り組んでいく必要がある。</td> </tr> <tr> <td>針</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>評</td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>針</td> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	担	維持・改善	心に悩みを持つ生徒の心のケア、不登校傾向生徒などさまざまな支援が必要になっているため、相談員のスキルアップ及び相談員の増員により支援を充実する。	当	○ 拡大	課	縮小	評	廃止検討		方	○ 維持・改善	相談員及び教職員のスキルアップに取り組んでいく必要がある。	針	拡大	評	縮小	針	廃止検討	
	担	維持・改善	心に悩みを持つ生徒の心のケア、不登校傾向生徒などさまざまな支援が必要になっているため、相談員のスキルアップ及び相談員の増員により支援を充実する。																		
当	○ 拡大																				
課	縮小																				
評	廃止検討																				
方	○ 維持・改善	相談員及び教職員のスキルアップに取り組んでいく必要がある。																			
針	拡大																				
評	縮小																				
針	廃止検討																				

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	13,865	14,396	14,400	17,449
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	4,936	5,082	4,995	6,038
	受益者	中学校生徒	(B)	2,809	2,833	2,883	2,890

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 保健相談員の賃金 特別な教育支援を必要とする生徒の支援 心に悩みを持つ生徒の心のケア 	要求のポイント	事業実施の課題	心に悩みを持つ生徒の心のケアに対応できる保健相談員の確保
------	--	---------	---------	------------------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	14,400	17,449	3,049	14,400	14,400	・普通交付税算入額を参考に積算	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	14,400	17,449	3,049	14,400	14,400		

平成26年度 事業別予算概要

事業名 93215 中学校教育機器整備事業費	会計 1 一般会計	政策 5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	市長公約
課目 2358	款 9 教育費	分野 1 学校教育	実施計画事業	
担当課 教育委員会事務局 学校教育課	項 3 中学校費	基本施策 1 義務教育の充実を図る	H26実施計画額	
内線 2358	目 2 教育振興費	施策 4 教育環境の整備	千円	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的 誰を(対象) 中学校生徒 対象者数 2,883 人	どうしたいのか(意図) 中学校教育機器の整備の充実	概要 事業の実施手法(手段) 学校内で使用する教材備品の購入
------------------------------------	---------------------------	-----------------------------------

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	教材備品の充実 中学校用教材備品の購入 15,953千円							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	学級数	学級	目標値	106	109	109	117
				実績(見込)	106	109	109	
	算出根拠等	5月1日現在		達成率(%)	100	100	100	
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
達成率(%)								
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・各学校の希望を考慮しながら、学校間のバランスにも配慮した学校教材の整備とその早期発注が課題である。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・各学校の希望を考慮しながら学校間のバランスに配慮した学校教材の整備のため、校長会等と連携して購入する教材の選定基準を引き続き検討する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・選定基準を定め、早期発注に努める
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	14,515	15,953	21,700	21,700
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	5,167	5,631	7,527	7,509
	受益者	中学校生徒	(B)	2,809	2,833	2,883	2,890

5 予算編成(Action2)

事業内容 ・教材備品の整備	要求のポイント ・吹奏楽備品の計画的な更新	事業実施の課題 ・早期発注による備品整備
------------------	--------------------------	-------------------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	21,700	21,700	0	22,900	22,900	・普通交付税算入額を参考に積算 ・吹奏楽備品の更新に要する経費を計上	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	5,000	5,000	0	5,000	5,000		
一般財源	16,700	16,700	0	17,900	17,900		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	93220 中学校図書整備事業費	会計	1 一般会計	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして	概観計画		市長公約
		款	9 教育費	分野	1 学校教育	実施計画事業	学校図書館整備事業	
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	項	3 中学校費	基本施策	1 義務教育の充実を図る	H26実施計画額	(小中合算) 69,000 千円	
	内線 3456	目	2 教育振興費	施策	4 教育環境の整備			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 中学校生徒	どうしたいのか(意図)	・全中学校の図書館の蔵書について文部科学省の基準を上回る図書の内容整備及び分野別でも基準を満たす。 ・読書に親しめる環境づくりを進めるとともに、学習・情報センターとして活用できる学校図書館にする。	概要	事業の実施手法(手段)	・学校図書館の管理・運営を行う。 ・分野ごとにバランスの取れた選書による図書購入を行う。
	対象者数 2,883 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> ・図書購入 7,554冊 ・学校図書システムの導入 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	年間購入冊数	冊	目標値	7,000	7,000	7,000	7,000
		実績(見込)			7,026	7,554	7,000	
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)	100	108	100	
		国の蔵書基準(種別)を上回る学校数	%	目標値	100	100	100	100
	実績(見込)			100	100	100		
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100		
				目標値				
		算出根拠等		実績(見込)				
				達成率(%)				
		算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					
補足			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・図書システムのさらなる活用を検討し、生徒の貸し借りをスムーズに行っていくとともに、生徒が自ら図書を検索し、購入する図書のリクエストをしたり、調べ学習に活用できる図書を見つけて利用したりできるようにするための指導を充実していく。 ・学習・情報センターとしての機能向上を図るため、図書館主任と学校図書館指導員の協働により、教科書で扱われる題材に關係した図書の展示方法の工夫や通信による紹介など、図書館経営のあり方を充実させていく。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館図書選書委員会において、共通図書の購入の検討や各学校の図書の分類別のバランスがとれた選書を行った。 ・調べる学習コンクールの事前研修会として、全小中学校より学校図書館指導員の悉皆研修を行い、図書館経営のポイントの周知を図った。 		
次年度の実施方針	担当課	維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・学習・情報センターとして活用できる学校図書館となるよう、学校図書システムの効果的な活用を図る。
	○	拡大	
		縮小	
		廃止検討	
二次評価	○	維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・図書システムの導入により、図書整理に要する時間が大幅に短縮されることから、図書指導員と教員が連携し、図書を使った教育を展開していく必要がある。 ・選書委員会設置の効果を検証し、学習・情報センターとしての機能充実を図る必要がある。
	○	拡大	
		縮小	
		廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)		(A)	24,947	26,733	25,350
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	8,881	9,436	8,793
	受益者	中学校生徒	(B)	2,809	2,833	2,883

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の管理運営 ・分野ごとにバランスの取れた選書による図書の整備 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の学習・情報センターとしての機能強化
------	---	---------	--

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	25,350	25,350	0	26,580	26,580	・普通交付税算入額を参考に積算	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	25,350	25,350	0	26,580	26,580		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	93235	中学校パソコン教育推進事業費	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	市長公約	
種別			款	9	教育費		分野	1	学校教育			実施計画事業
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線	3	中学校費		基本施策	1	義務教育の充実を図る	H26実施計画額		
	3456		目	2	教育振興費		施策	4	教育環境の整備			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	中学校生徒	どうしたいのか(意図)	中学校におけるパソコン教育の推進と活用	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 各校で現在使用しているパソコンについて平成26年のWindowsXPのサポート終了に伴う、Vista、7へのアップグレード 老朽化している教室用パソコンの更新(新規リース化) パソコン教育の指導 情報漏えい対策
	対象者数	2,883 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティソフトのライセンス購入 サーバの保守 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	パソコン設置台数	台	目標値	900	900	689	680
		実績(見込)			712	712	680	
	算出根拠等			達成率(%)	79	79	99	
				目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
補足			実績(見込)					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器、校内無線LANの導入 ※生徒が電子黒板、タブレットPCをあたり前に活用して分析したり、表現したりする力を身に付ける。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化したパソコンの更新(リース化) XPのサポート終了によるVista、7へのアップグレード(管理用パソコン、パソコン室パソコン) 老朽化した各校ネットワークのスイッチ、ハブの交換 		
次年度の実施方針	担当課評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> メインサーバー(電算室)、各校サーバーの更新
	二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	
		<ul style="list-style-type: none"> 教育用パソコンを積極的に授業に活用する必要がある。 機器更新にあたっては、効率的な配置と計画的な更新を行う必要がある。 	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除く)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	1,880	1,763	12,350	12,468
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	669	622	4,284	4,314
	受益者	中学校生徒	(B)	2,809	2,833	2,883	2,890

5 予算編成(Action2)

事業内容	・中学校におけるパソコン教育の推進のための経費	要求のポイント	・老朽化したサーバー機器の更新	事業実施の課題	・計画的な機器更新とセキュリティの向上
------	-------------------------	---------	-----------------	---------	---------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		12,350	12,468	118	11,080	11,080	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査 サーバーの更新に要する経費を計上 	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	12,350	12,468	118	11,080	11,080		

平成26年度 事業別予算概要

事業名 93240 中学校 中学校要保護及び準要保護等生徒援助費	会計 1 一般会計	政策 5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	市長公約
款 9 教育費	分野 1 学校教育	実施計画事業	要保護及び準要保護生徒扶助事業	
項 3 中学校費	基本施策 1 義務教育の充実を図る	H26実施計画額	(小中合算) 55,000 千円	
目 2 教育振興費	施策 2 一人ひとりを大切にす教育の推進			
担当課 教育委員会事務局 学校教育課	内線 2358	予算		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 中学校生徒	どうしたいのか (意図)	経済的理由のため就学困難と認められる生徒の就学を奨励する。	概要	事業の実施手法(手段)	保護者に必要な学用品費等の援助や学校給食費の全部または一部を補助する。
	対象者数	2,883 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	要保護・準要保護等生徒援助費 223人 24,479千円							
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	援助している生徒数		人	目標値	235	242	252	253
	実績(見込)			実績(見込)	218	223	235	
	算出根拠等 年間認定者数			達成率(%)	93	92	93	
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	景気の低迷や離婚等による収入の減少から、援助が必要な生徒をもつ世帯が増加傾向にあるため、予算の確保が必要である。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	就学困難と認められる生徒の保護者に対して従前と同様に支援を行い就学を奨励する	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	国の制度改正の動向等を把握しながら、引き続き、必要な援助、学校給食費の全部または一部を補助することにより就学を奨励していく。
	拡大	
	縮小	
	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	24,776	24,479	31,800	32,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	113,651	109,771	126,190	124,514
	受益者	援助している生徒数	(B)	218	223	252

5 予算編成(Action2)

事業内容	・要保護及び準要保護生徒への就学援助 ・特別支援学級就学生徒への就学奨励	要求のポイント	事業実施の課題	・学校と連携した制度の周知の継続
------	---	---------	---------	------------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	31,800	32,000	200	31,770	31,770	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
国庫支出金	1,800	2,000	200	1,900	1,900		
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	30,000	30,000	0	29,870	29,870		

平成26年度 事業別予算概要

事業名 93245 課 別	学校教育関係事務費	内線 2359	会計	1	一般会計	総合 計 画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	市長公約
			款	9	教育費		分野	1	学校教育		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	2359	項	3	中学校費	基本 施 策	1	義務教育の充実を図る	実施計画事業	部活動推進事業、中学校各種大会等派遣助成事業	
			目	2	教育振興費		1	自ら学び考える力の育つ教育の推進			H26実施計画額

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	中学校生徒	どうしたいのか (意図)	中学校教育推進上の必要経費(部活動大会派遣等)にかかる補助金、生徒の健康診断にかかる手数料等を負担することで、生徒の心身の健全育成をはかる	概要	事業の実施 手法(手段)	・中学校生徒について学校保健安全法に基づく健康診断を実施する。 ・中学校教育推進上の必要経費のうち主に市主催の行事等に関する経費の管理・執行をする。 ・部活動において各種大会へ派遣される生徒、教員等の経費の1/2を補助する。
	対象者数	2,883人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・生徒健康診断 3,193千円 ・各種大会派遣補助金 5,316千円 等							
成果 面	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	活動 指 標	生徒数	人	目標値	2,809	2,833	2,883	2,890
				実績(見込)	2,809	2,833	2,883	
	成果 指 標	部活動において県大会以上へ出場した回数	回	達成率(%)	100	100	100	
				目標値	120	120	120	120
	算出 根 拠	算出根拠等	5月1日現在	実績(見込)	118	103	120	
				達成率(%)	98	86	100	
	算出 根 拠	算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
	算出 根 拠	算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
	算出 根 拠	算出根拠等		実績(見込)				
				達成率(%)				
算出 根 拠	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
算出 根 拠	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値					
算出 根 拠	算出根拠等		実績(見込)					
			達成率(%)					
補 足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・部活動のあり方について検討する必要がある
----------------------------------	-----------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	・部活動における公費負担のあり方を検討する	
次 年 度 の 実 施 方 針	○維持・改善	・生徒の心身の健全育成のため、継続して事業を実施する。 ・部活動に対して、公平かつ効果的な支援をする。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
	○維持・改善	
	拡大	
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト 指 標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	12,906	12,161	16,335	16,816
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	4,595	4,293	5,666	5,819
	受益者	中学校生徒	(B)	2,809	2,833	2,883

5 予算編成(Action2)

事業 内 容	・学校運営に係る一般事務費 ・生徒健診、検尿、心電図検査費用	要 求 の ポ イ ン ト	・学校保健安全法に基づく生徒の健康診断費用 ・部活動の大会派遣に対する助成費用を計上	事 業 実 施 の 課 題	・生徒の健康の維持 ・部活動にかかる支援方法の検討
--------------	-----------------------------------	---------------------------------	---	---------------------------------	------------------------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	16,335	16,816	481	15,831	15,831	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	16,335	16,816	481	15,831	15,831		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	93275	中学校外部講師活用事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	市長公約
	課			9	教育費	分野		1	学校教育			
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線 2362	項	3	中学校費	基本施策	1	義務教育の充実を図る	実施計画事業	小学校国際理解推進事業	
	目	2		教育振興費	1	自ら学び考える力の育つ教育の推進		H26実施計画額	(小中合算)3,700 千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	中学校生徒	どうしたいのか(意図)	地域の方々から、総合的な学習の時間・クラブ活動・進路講話・外国語指導等を受け、豊かな学習活動を展開しながら、様々な方面の事柄に興味関心を持たせ、生きる力の礎を築く。	概要	事業の実施手法(手段)	各学校でその地域の特徴ある講師や、生徒に興味関心を持たせることができる講師を選定し、様々な学習活動を行う。
	対象者数	2,883 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	外部講師による授業時間 826時間							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	外部講師活用時間数	時間	目標値	900	900	900	900
				実績(見込)	900	826	900	
	算出根拠等			達成率(%)	100	92	100	
	成果指標	補助金を得て行った活動が、児童生徒の生きる力の育成に寄与したと評価している学校数	校	目標値	12	12	12	12
				実績(見込)	12	12	12	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足	各学校でその地域の特徴ある講師や、生徒に興味関心を持たせることができる講師を選定し、様々な学習活動を行う。							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	子どもたちは、地域の方々から多くの刺激を頂いている。H24年度は中学校の新指導要領が完全実施されたため、選択教科の授業がなくなり、計画の時数を消化できなかった。これについては、今年度充実をめざす郷土教育にかかわる学習の場面において、郷土について多く学ぶことができる講師の方を開拓し、活用を進めていく。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	昨年度取り組んだキャリア教育での講師活用に加え、郷土教育の場面でも地域の方々から学ぶ機会が多いことから、外部講師の活用計画を立て効果的な活用をめざしている。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	生徒に様々な方面の事柄に興味関心を持たせることができる外部講師を活用した事業を継続して行う。
	拡大	
縮小		
廃止検討		
二次評価	○ 維持・改善	多様な学習・体験のため、地域の人材を活用した事業として、事業の効果検証を行いながら実施する必要がある。
	拡大	
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	1,800	1,652	1,800	1,800
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	641	583	624	623
	受益者	中学校生徒	(B)	2,809	2,833	2,883	2,890

5 予算編成(Action2)

事業内容	外部講師報償費	要求のポイント	事業実施の課題
			多様な学習・体験のため、講師に地域の人材を活用する

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,800	1,800	0	1,800	1,800	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,800	1,800	0	1,800	1,800		